

耳よりウンチク学

真空引きの目的

冷媒配管の3原則（乾燥・清浄・気密）のうち、乾燥を目的に行うのが真空引きです。

大気圧下では、水は100℃で沸騰し蒸発しますが、気圧が下がれば沸点も下がります。つまり、真空になれば低い温度でも配管内の水分が蒸発してくれるのです。

真空引きの時間は、配管径や長さにもよりますが、周囲温度が20℃の場合で、目安として、真空度が-0.1MPa（-750mmHg）に到達後、さらに1時間以上運転することが必要でしょう。

真空度と蒸発温度の関係

真空度	0.094MPa (705mmHg)	0.0965MPa (724mmHg)	0.0989MPa (742mmHg)	0.1MPa (750mmHg)
水の沸騰温度	40℃	30℃	20.6℃	11.7℃